

第3回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会

幹事会

日時：令和6年6月27日(木)18時より

場所：岩村コミュニティセンター 2階大会議室

1. 報告

専門部会等での審議状況

2. 議題

(1) 課題 No. 1 新中学校の名称について（総務部会）

(2) 課題 No. 9 校舎の増築、改築に関する事（環境部会）

(3) 課題 No. 21 学校図書に関する事（教育部会）

第3回 恵那南地区統合中学校 準備委員会 幹事会

日 時 令和6年6月27日（木）
18時00分から
会 場 岩村コミュニティセンター
2F 大会議室

恵那南地区統合中学校準備委員会



1

第3回幹事会

○報告事項

各専門部会等の審議状況

○議題

- ・課題No.1 新中学校の名称について（総務部会）
- ・課題No.9 校舎の増築、改修に関する事（環境部会）
- ・課題No.21 学校図書に関する事（教育部会）

恵那南地区統合中学校準備委員会

2

第5回理事会（3月29日）：新中学校の名称・スクール
バスの運行・部活動

第2回総会（5月20日）：部活動・交流事業

第8回総務部会（5月20日）：R5年度協議状況
R6年度予定

第10回環境部会（5月20日）：課題整理シートの確認

第7回教育部会（5月20日）：課題整理シートの確認

第9回総務部会（6月6日）：新中学校の名称

第8回教育部会（6月18日）：学校図書館のデザイン

第11回環境部会（6月20日）：校舎の増築、改修

議題

課題No.1 新中学校の名称について 総務部会

募集内容:岩邑中学校、山岡中学校、明智中学校、串原中学校、上矢作中学校の統合による新中学校の名称

応募期間:令和6年4月1日～5月10日

応募資格: 恵那市在住者、対象中学校の卒業生

応募点数：一人につき一点

応募方法: オンラインフォーム、郵送、市役所・教育委員会・振興事務所にて投函、電子メール

周知方法:新聞折り込み、ホームページ掲載、南地区
小・中学校及び子ども園保護者へメール配
信、市役所窓口にチラシ設置

恵那南地区統合中学校準備委員会

5

学校名称募集アンケート用紙

新恵那南地区統合中学校の校名を募集します

恵那市では、恵那南地区の5つの中学校が統合し、令和8年4月に新中学校が開校します。つきましては、新中学校にふさわしい校名をみなさまから募集します。ぜひご応募ください。

募集内容	岩邑中学校、山岡中学校、明智中学校、車原中学校、上矢作中学校の統合による新中学校の校名	
応募資格	1. 恵那市にお住まいの方 2. 恵那市外にお住まいの方で、統合対象中学校の卒業生の方	
応募期間	令和6年4月1日（月）～令和6年5月10日（金）	
応募点数	一人につき一点	
応募方法	●オンラインフォームによる応募 URL または QR コードからアクセスいただき、必要事項を入力してください。 URL : https://forms.gle/6fZWhKwZdF1SRYLK7 QR コード :  ●応募用紙による応募 ・本紙の裏面に必要事項を記入し、郵送、持参により提出してください。 ・持参の場合は、恵那市役所、恵那市教育委員会事務局または各振興事務所の受付に設置してあります。応募箱へ投函してください。 ●応募用紙以外（ハガキ他、メール）による応募 ・表題を「校名応募」とし、①校名、②その校名とした理由、③氏名、住所、連絡先、④応募資格のどちらか、を記入し、郵送、メールにて提出してください。 ※郵送の場合は、応募にかかる郵送費用は応募者の負担となります。	
応募の要件	・他の著作権等の権利を侵害しないものに限ります。 ・統合対象中学校の現在の校名では応募できません。	
選定の観点	・校区の児童、生徒、保護者及び地域が将来にわたって親しみや愛着を持てるものか。	
選定の方法	・応募のあった校名の中から、統合中学校準備委員会が候補を検討し、教育委員会に提案します。 ・必ずしも、応募数の多かった校名が選定されるものではありません。	
その他	・応募の際にご記入いただいた個人情報、適切に管理し、この目的以外には使用しません。 ・応募者へ個別に結果通知及び応募用紙の返却はいたしません。	
応募先 (問合せ先)	〒509-7292 恵那市長島町正家一丁目1番地1 恵那市教育委員会事務局 学校統合準備室（恵那市役所 西庁舎 4 階） 0573-26-2111	

新恵那南地区統合中学校の校名を募集します <u>校名応募用紙</u>	
新中学校の 名称	ふりがな
	恵那市立【 】中学校
校名の理由 (※理由や想いを記入ください。)	
応募資格	該当する方に○をしてください。 １．恵那市にお住まいの方 ２．恵那市外にお住まいの方で、統合対象中学校の卒業生の方
氏 名	ふりがな
住 所	〒 -
電話番号	

【郵送先】 〒509-7292 恵那市教育委員会事務局 学校統合準備室
 【持 参】 恵那市役所、恵那市教育委員会事務局または各振興事務所の受付
 【メールアドレス】 gakkoutousou@city.ena.lg.jp

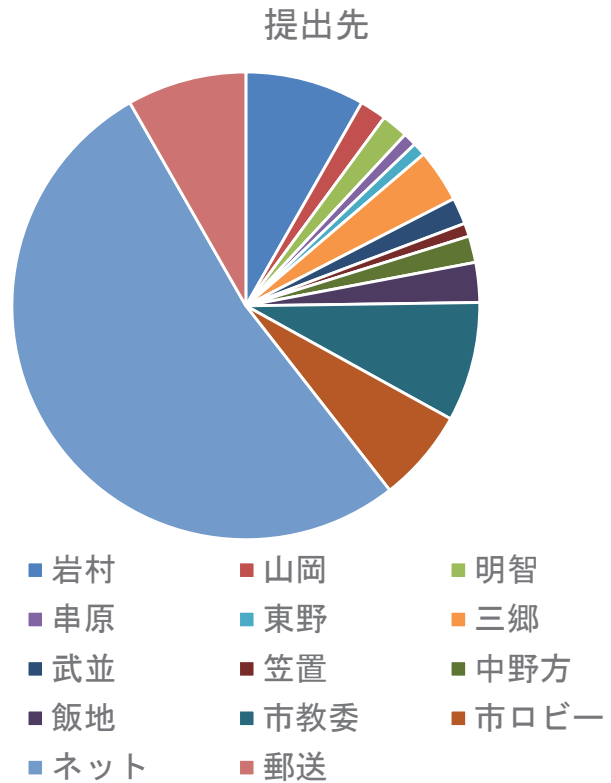
◆ 学校統合に関する情報及び新学校の基本構想は恵那市ホームページに掲載しています。

惠那南地区統合中学校準備委員会

6

校名アンケート結果

応募先・方法	数量	率
岩村振興事務所	9	8.26%
山岡振興事務所	2	1.83%
明智振興事務所	2	1.83%
串原振興事務所	1	0.92%
東野振興事務所	1	0.92%
三郷振興事務所	4	3.67%
武並振興事務所	2	1.83%
笠置振興事務所	1	0.92%
中野方振興事務所	2	1.83%
飯地振興事務所	3	2.75%
市教育委員会	9	8.26%
市ロビー	7	6.42%
インターネット	57	52.29%
郵送	9	8.26%
計	109	

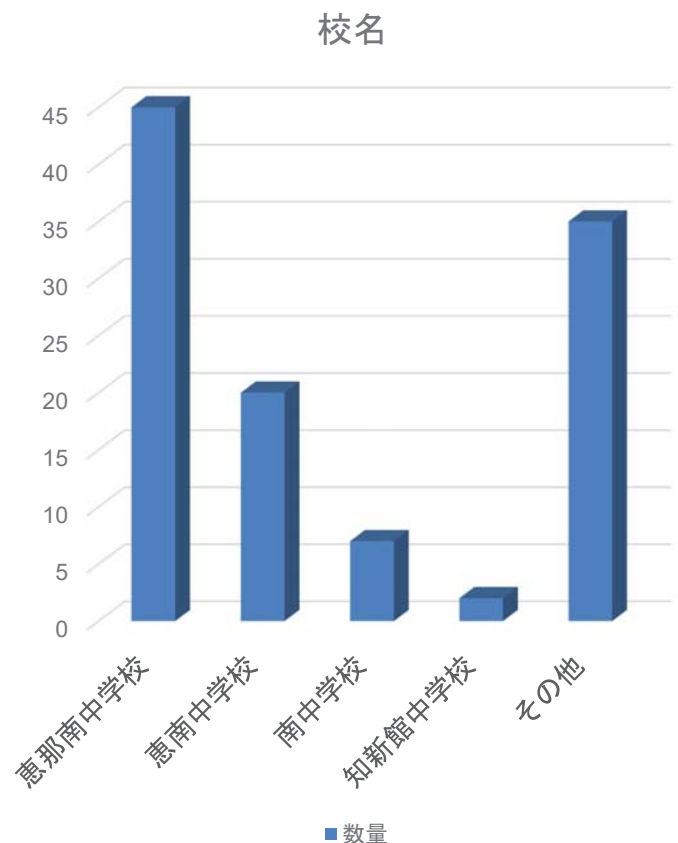


恵那南地区統合中学校準備委員会

7

校名アンケート結果

名称	数量	率
恵那南中学校	45	41.28%
恵南中学校	20	18.35%
南中学校	7	6.42%
知新館中学校	2	1.83%
その他	35	32.11%
計	109	



恵那南地区統合中学校準備委員会

8

その他の回答（抜粋）

恵南五・明恵・恵那輝・恵那希望・大空南・
恵那南知新・恵南五和環・かがやき恵南・
けいなん・五郷・ささゆり・山河・南恵那・
5サクラ・小壮南・新東濃・恵那サウス・
恵那さくら・希望・恵那みなみ・恵那言志・
恵那花ノ木・山城ささゆり・伍虹・郷山・
南部・恵那知新館・恵那南五・恵那立志・
恵那輪和・南風・岩山明串上

恵那南中学校と回答した理由

- ・ 既存の恵那東中学校、恵那西中学校、恵那北中学校と対応して、恵那南中学校とするとバランスがよい
- ・ 統合歴のある恵那東中学校、恵那西中学校、恵那北中学校のことを考えるならば、単純に「恵那南中学校」の名称で良い。五校もの統合事情を考えると無理に独自性を出さなくても良い
- ・ 県大会や全国大会に出場した時、恵那市の中学校とすぐわかるので恵那は入れるべき
- ・ 方角で分けるほうが解りやすく馴染みやすい

恵南中学校と回答した理由

- ・ 5か町村を恵南と言う事から
- ・ 統合となる5つの中学校のことや新中学校の校区となる地域のことなどについて、誰もが容易に想起できる
- ・ 2つの漢字であるために生徒が校名を書きやすくなり、読み仮名も4文字であるために声に出して呼びやすくなる
- ・ 分かりやすくシンプルに

南中学校と回答した理由

- ・ 現在中学校3校は東、西、北があり、南に位置する場所であるため
- ・ わかりやすいから

統合中学校の名称

第 1 候補 **恵那南中学校**

第 2 候補 **恵南中学校**

上記 2 案にて理事会に諮り、理事会で決定した校名を総会にて承認を求める

議題

課題No.9

校舎の増築、改修に関すること
環境整備・PTA・コミスク部会

(1) 部会等での検討状況

日にち	内容
令和5年8月2日 令和5年8月6日	山岡中学校現場見学会
令和5年9月5日	校舎づくりのアイデアについて意見交流
令和5年9月28日	アイデア提案をふまえた校舎の配置計画案を協議
令和5年11月2日	アイデア提案の再確認と校舎づくりにおいて大切に考える考え方の整理 増築校舎の配置計画案のとりまとめ
令和5年12月6日	増築校舎の配置計画、設計に関する提案事項についての決定
令和6年6月20日	実際の設計にアイデアがどのように反映されたかの確認

恵那南地区統合中学校準備委員会

15

(2) 校舎づくりにおける大切な考え方

増築校舎	①多くの時間を過ごす生徒の為、広く使いやすい新しい環境の教室を整備 ②増築場所は学校グラウンドの北東側に、普通教室を配置する校舎（既存校舎横では密集するため、校舎敷地はそのままの空間で残す）
グラウンド・校舎周り	③体育授業等の屋外活動は、現在の学校グラウンドを活用（ケガや体調不良時の保健室への緊急搬送が可能） （安全性（AED利用等）では、すぐに職員の駆け付け対応が可能） （不審者や動物等の進入時の発見では、職員等の多くの目線により可能） ④下にB & Gグラウンドがあり2つのグラウンドの有効活用ができる ⑤緊急の生徒引き渡し時に配慮した車両の通行動線を校舎周りで確保する
校舎づくり	⑥地域の特色や文化等を交流し学び合えることができる（交流スペース） ⑦不登校や学校になじめない生徒でも居場所がある（相談室等のスペース） ⑧生徒数の減少による将来的な空き教室を見据えた有効利用を図れる

恵那南地区統合中学校準備委員会

16

(3) 増築校舎の配置計画案

・グラウンド利用での雨天時や夏の暑さにおける日陰利用、生徒引き渡し時の利用等、幅広い活用ができるピロティをつくる ・余裕ある広さの教室をつくる	1階：ピロティ、生徒玄関、給食配膳室 2階：普通教室型 6 3階：普通教室型 6 (うち 1 教室は多目的利用を図る) 既存校舎と渡り廊下でつなぐ (既存 1 階と増築 2 階、既存 2 階と増築 3 階)
・窓が南向きで横並び形の教室とする	南向きで、3 教室ずつ横並び方式とする

(4) アイデア提案事項

施設	①既存校舎の各部屋を生徒数が多くなるため、広くする ②木をふんだんに使用する ③中庭のステージを改修して残していく ④空き教室が出ることを見据え、教科教室型の教室を整備する ⑤ランチルームをリラックスできる場所にする（ソファを置くなど） ⑥ランチルームを図書館にして、2 階へつながる階段を設置する
設備	⑦バリアフリーに対応させる（エレベーター、スロープ、トイレ等） ⑧トイレの数を増やす（例：各学年 1 つ、独立したトイレ、屋外トイレなど） ⑨全教室にエアコンを設置する ⑩教室の換気を良くする ⑪電子黒板にする ⑫不審者対策としてのセキュリティを強化する ⑬太陽光パネルを設置する ⑭手洗い場を増やす

配置図

周回用スロープの設置 (2)-⑤

状況に応じて中学校グラウンドと
山岡B&Gグラウンドを有効活用できる
(2)-④

山岡B&Gグラウンド

増築校舎計画平面図

【増築校舎 1,2 階】

木を使った明るい生徒玄関 (4)-②
靴入れや座席に木を使い、明るく使いやすい生徒玄関を整備します



セキュリティの強化：防犯カメラ・電子錠の設置 (4)-⑫

屋外デッキ
天気の良い日に屋外で交流できる屋外デッキを整備します



EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

EV

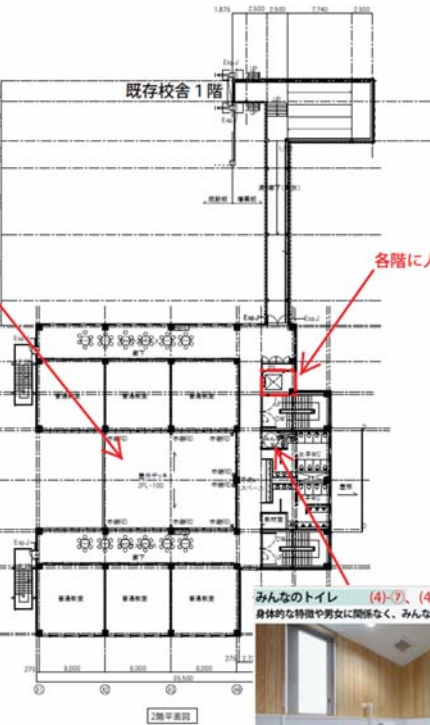
EV

EV

EV

EV

EV

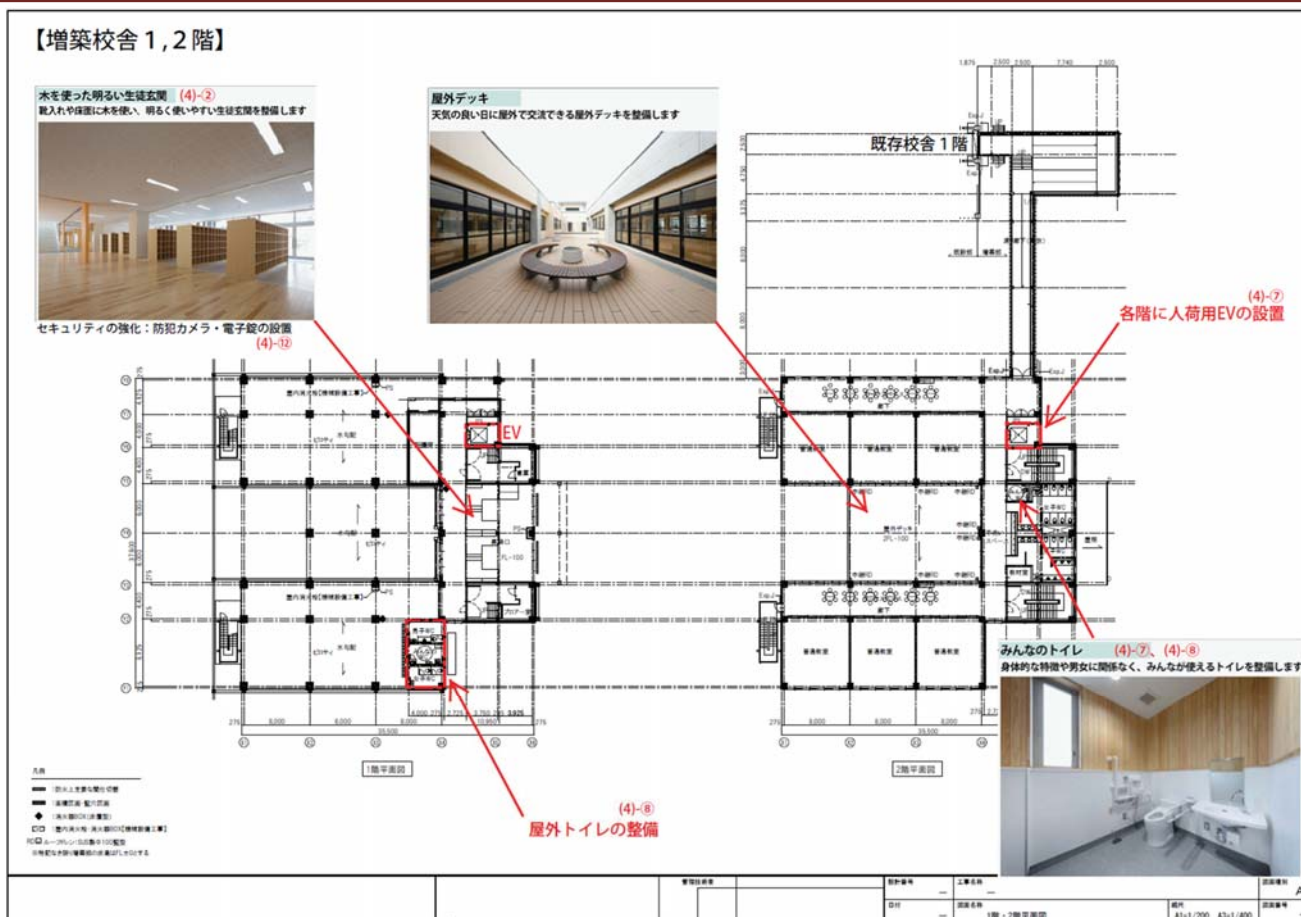
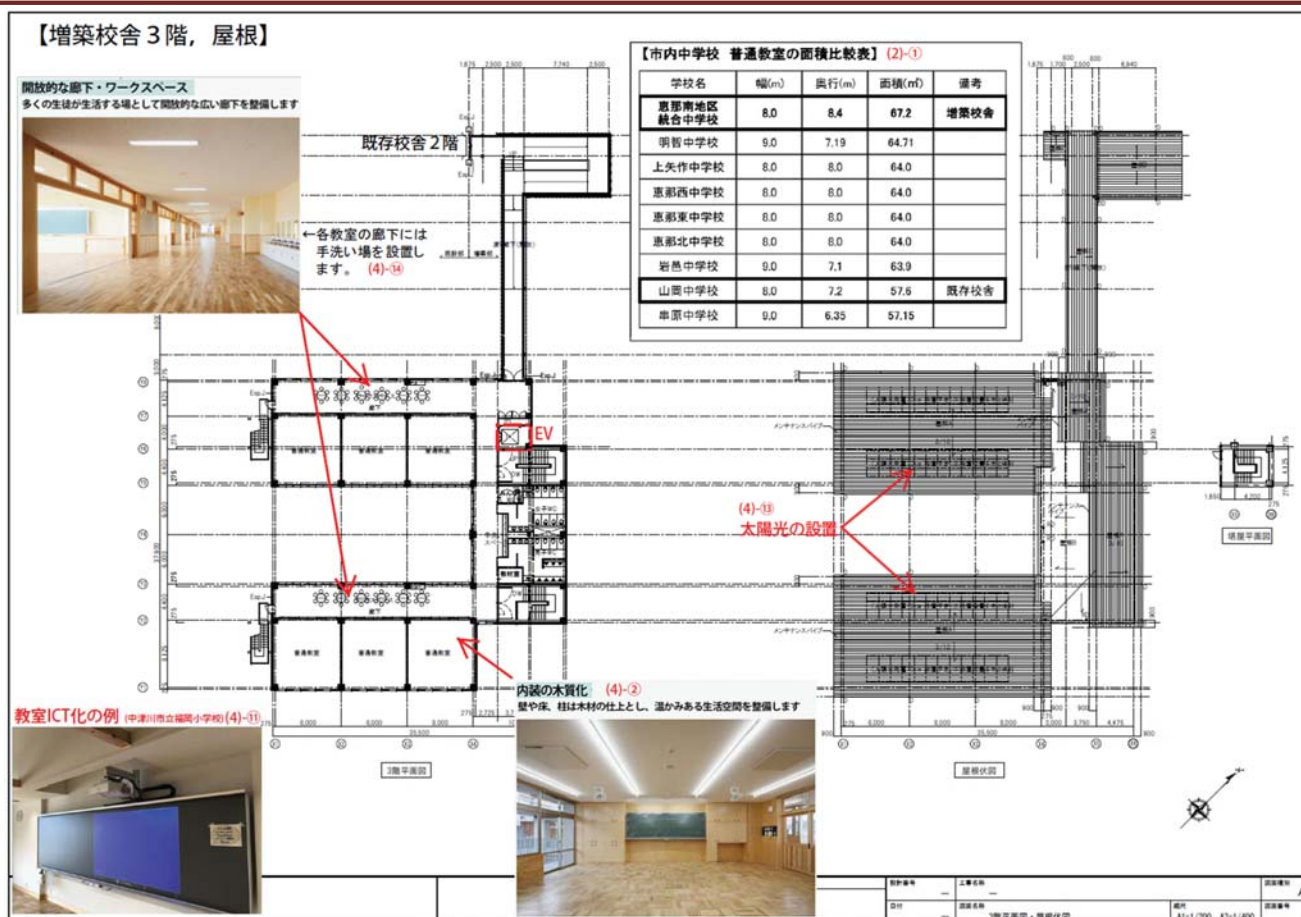


各階に人荷用EVの設置 (4)-⑦

みんなのトイレ (4)-⑦、(4)-⑧
身体的な特徴や男女に関係なく、みんなが使えるトイレを整備します



屋外トイレの整備 (4)-⑧





ランチルーム→メディアスペース (ICT) 改修
近年の ICT 学習に対応した環境を整備するために、ランチルームをメディアスペース (ICT) に改修し、先進的な ICT 学習が可能な環境を整備します。

文化交流スペースの整備 (2)-⑥
各地域の特色や文化について、実物等を交えて学び合えることができる場所を整備します。



職員利用諸室の整備 (4)-①
職員室拡張に伴い、印刷室、湯沸室、更衣室を整備します。生徒増に伴い相談室を増設します。

普通教室→校内教育センター (2)-⑦
不登校児が安心して過ごせる居場所を設け、学習・作業・相談といった様々な場面に応じた環境を整備します。

みんなのトイレ・手洗いの整備
バリアフリー化や感染症対策を考慮し、既存校舎にも車椅子利用者に対応したトイレと手洗いを整備します。

職員室・校長室の拡張 (4)-①
統合により、職員が増加するため職員室を 2 スパン分拡張します。校長室の位置変更と拡張を行います。

既存校舎 1 階平面図 (4)-⑦



図書室→メディアスペース (図書) 改修
統合後に生徒数が増加するため、必要な蔵書数を確保しながら、調べ学習等、学習面でも多様に利用できるメディアスペースとしての図書室を整備します。



エアコンの設置 (4)-⑨
子どもたちの熱中症対策や快適な生活環境の整備を目的とし、全教室にエアコンを整備します。

ワークスペース→音楽室 1 改修

コンピューター室→理科室 改修

普通教室→音楽室 2,3 改修

既存校舎 2 階平面図

みんなのトイレ手洗いの整備
バリアフリー化や感染症対策を考慮し、既存校舎にも車椅子利用者に対応したトイレと手洗いを整備します。

美術室→特別支援教室 改修



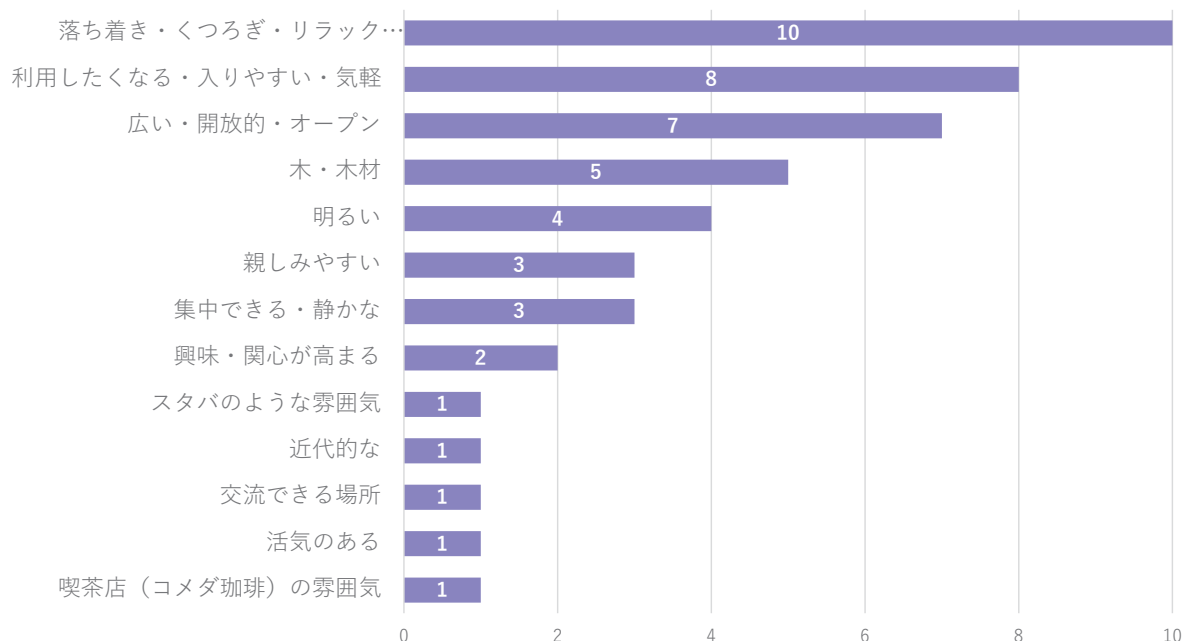
課題No.21 学校図書に関すること 教育活動・学校事務部会

恵那南地区統合中学校準備委員会

25

意見の集計・まとめ

イメージに関する意見の集計



※意見に出てきた単語の出現頻度を集計・定量化

恵那南地区統合中学校準備委員会

現時点で改築の設計に反映させていく事項

■ 広いスペースが必要

落ちついて読書・学習ができる空間が必要となり、それぞれを配置できるスペースが必要。
圧迫感が無く、開放的で入りやすい。明るく広い空間。

■ 利用しやすい環境づくり

生徒が気軽に利用できる雰囲気、空間デザインの工夫が必要。
多目的な利用を見据えて、外部からもアクセスしやすい場所とする。

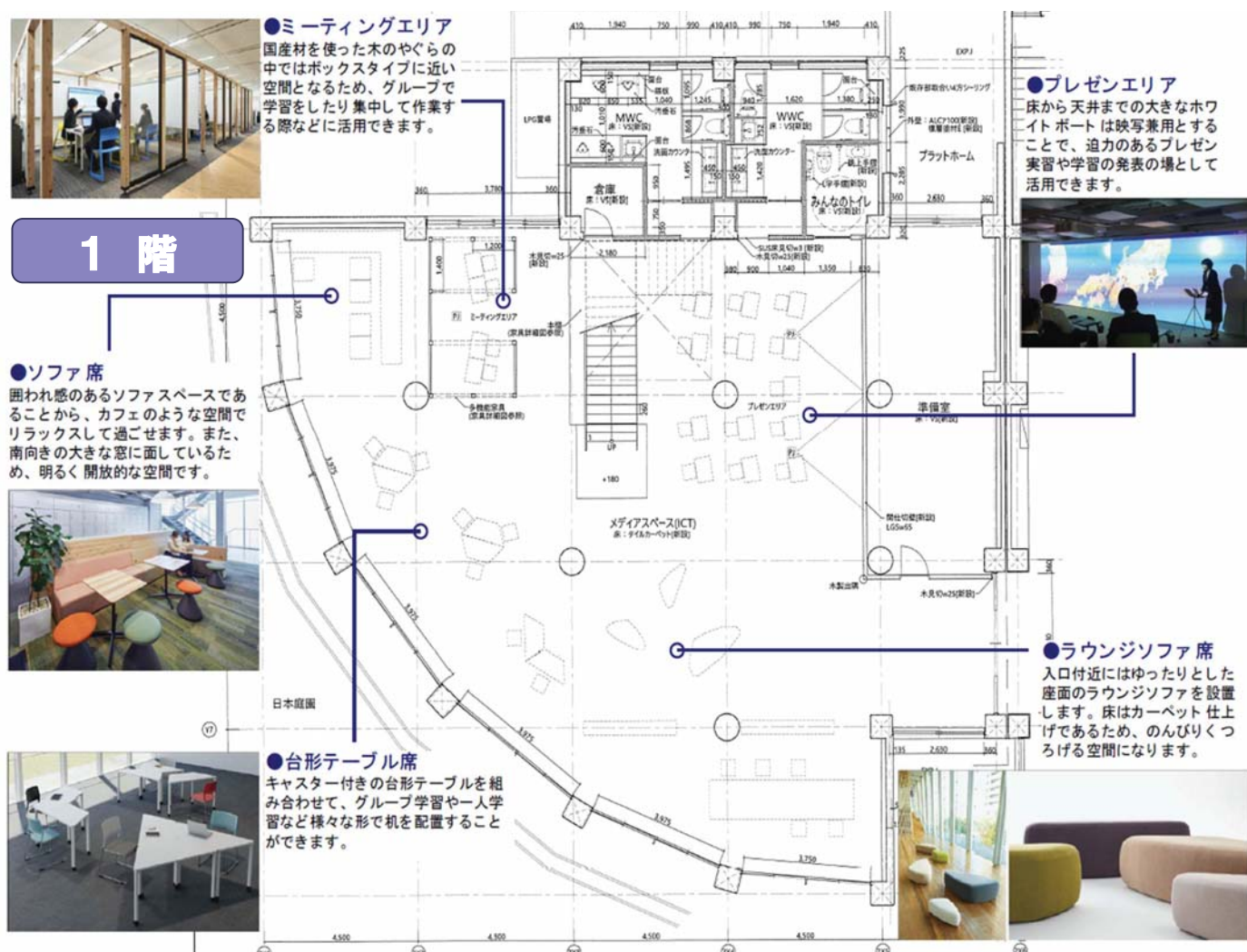
■ 快適な空間づくり

リラックスして過ごせる空間となるよう、レイアウトの工夫が必要。
温度や照度が保たれていることは必須。

校舎の増改築を議論している「環境部会」へ伝える。
設計(案)が出来たら、さらに具体的な検討に移る

恵那南地区統合中学校準備委員会

27



28

周りの視線が気になりづらい、囲われ感のある閲覧スペースです。本に囲まれながら集中して読書を楽しむことができます。



1階と2階を直接行き来ができる、吹き抜けのある階段です。プレゼンエリアでの発表などを階段からも見ることができます。



●書架

全体で**11,820冊**収容可能な書架数を確保しました。本棚は中学生でも奥が見通せる高さとなっていますので、奥行きのある広々とした空間です。

